

各科目区分の目的・目標

九州大学 基幹教育院



九州大学

基幹教育科目の構成

大きく10の科目区分から構成され、
それぞれ修得単位数が学部・学科ごとに定められている

1. 基幹教育セミナー
2. 課題発見科目
3. 学術アプローチ科目
4. 言語文化科目
5. 文系ディシプリン科目
6. 理系ディシプリン科目
7. サイバーセキュリティ科目
8. 健康・スポーツ科目
9. 総合科目(フロンティア科目、オープン科目)
10. 高年次基幹教育科目

1. 基幹教育セミナー

異なる専門分野を目指す学生および教員との対話や
それを踏まえた自己省察を通じて、〈学びの基幹〉を育む



1年次夏学期開講・1単位【必修】

受講クラスは学部混成、20人程度のセミナー形式

- ・自らの「大学における学び」を他者に説明する。
- ・他者の「大学における学び」に耳を傾ける。
- ・「自らの学び」も相対化させ、省察する。

★受講する曜日・時限はクラスにより指定される**(時間割A表を確認)**

★受講クラス割・担当教員・教室等の情報は、

5月以降に学生ポータルシステム(Campusmate-J)にて配信。

1-2. 基幹教育セミナー 英語クラス

「KIKAN Education Seminar in English」 受講生募集！

英語能力を問いません！ビギナーの方を手厚くサポートします。

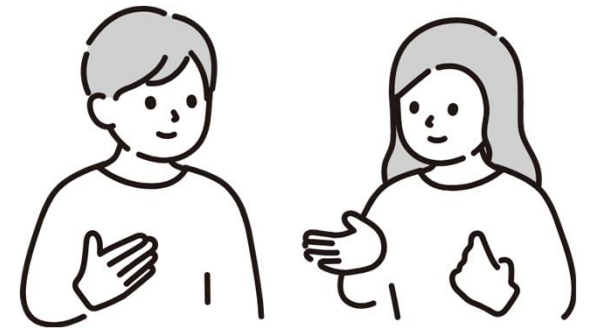
日本語もわかる先生なので安心！

Advanced English speakers are welcome too!

原則、自身のクラスが「基幹教育セミナー」を割り当てられている

曜日・時限のままで受講

※他の曜日・時限に割り振られる場合がある



★英語クラス受講者募集の詳細については、
別途学生ポータルシステム(Campusmate-J)等で配信予定

2.課題発見科目

思考力を鍛えることを通して新たな「課題」の発見力を培う



1年次 秋 or 冬学期開講・1単位【必修】

- ・思考演習パート、課題発見演習パート、総括パートの3つのパートから構成
- ・グループでの議論や様々な立場・視点からのアプローチを通して問いをたて、既存の問題を新たな観点から捉え直し、議論の枠組みを再構築する能力を養う
- ・英語クラスも開講
参加を希望する学生は学生ポータルシステム(Campusmate-J)で配信される募集情報に留意

★受講する曜日・時限はクラスにより指定される(時間割A表を確認)

★受講クラス割・担当教員・教室等の情報は、

9月中旬以降に学生ポータルシステム(Campusmate-J)にて配信。

3. 学術アプローチ科目

課題解決へ向けた種々の境界を越境／接続／総合する
視点や考え方を獲得する



1年次 秋 or 冬学期開講・1単位【必修】

- ・開講曜日ごとに共通テーマが設定

月曜クラス: テーマA「持続可能な共生を実現する社会の構築に向けて」

木曜クラス: テーマB「科学技術のイノベーションと個人および集団のウェルビーイング」

- ・学部混合で構成された1クラス130名程度で実施

1つの開講時限に5クラスが同時開講され、第1、4、7、8週目はあらかじめ割り当てられたクラスで受講。残りはアプローチ講義が提供され、各自が事前に選んだアプローチ講義が開講されている教室で受講。

- ・英語クラスも開講

参加を希望する学生は、学生ポータルシステム(Campusmate-J)で配信される募集情報に留意

★受講する曜日・時限はクラスにより指定される(時間割A表を確認)

★受講クラス割・担当教員・教室等の情報は、

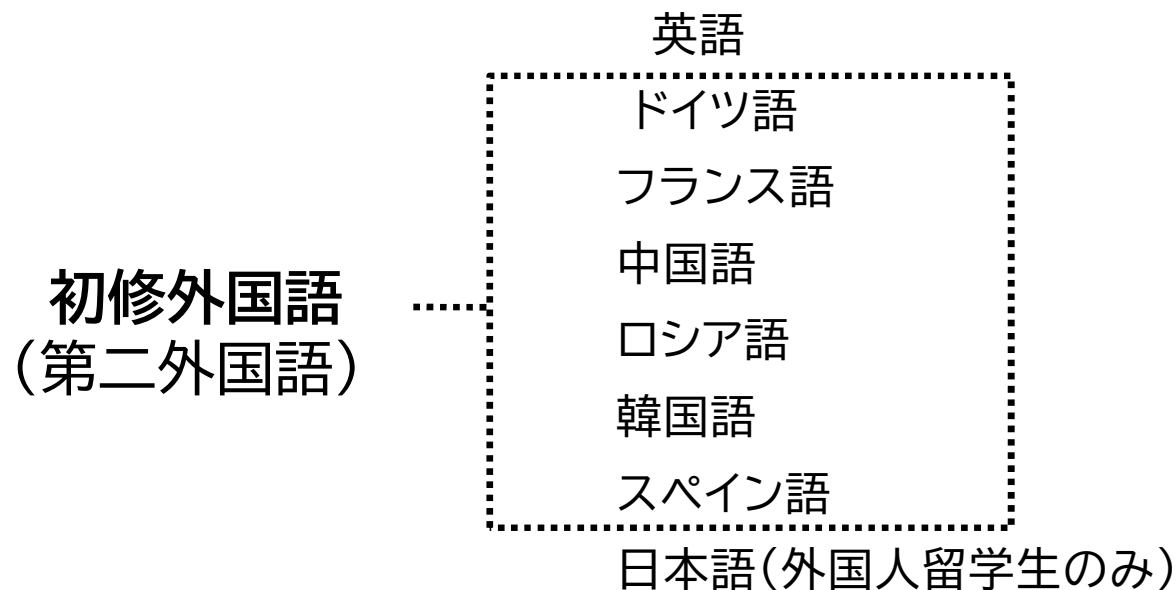
9月中旬以降に学生ポータルシステム(Campusmate-J)にて配信。

4. 言語文化科目

- ・課題を達成できる言語運用能力の習得を目指す
- ・外国語の背景にある異文化に対する理解を深めながら、母語や自国の文化を相対化する力を養う



第一外国語(主として英語)と第二外国語を選択する



★受講クラス割は4月の授業第1週目までに
学生ポータルシステム(Campusmate-J)にて配信予定

4-1.言語文化科目(英語)

- ・より高度な英語運用能力の習得を目指し、
学術目的の英語学習の基礎を提供する
- ・基礎の上に、自らの興味に応じて自律的な学習計画を作り上げることができるよう、多様な内容の科目を提供

共創学部、文学部国際コース 1年次に計10単位【必修】

- Intensive English: Global IssuesRW 1,2／ LS 1,2
- Intensive English: Academic Issues 1,2,3,4
- Intensive English: Japanese Issues 1,2 (各1単位)

上記以外の学部・学科 1年次に計4単位【必修】

- 学術英語・インタラクシオン
- 学術英語・アカデミックライティング
- 学術英語・アカデミックリテラシー
- 学術英語・アカデミックリテラシー (各1単位)

★2年次以降の英語の履修の仕方は学部・学科により異なるため、
『履修要項』p.102, 104を必ず確認すること

学術英語・CALL1,2について

特定の曜日時限に授業を行わない集中講義科目



1年次前期・後期にWEB教材で自主学習 計2単位【必修】

※共創学部、文学部国際コースを除く

- ・WEB学習の状況
- ・定期試験(8月、2月)
- ・AIによるスピーキング自己診断

の3つにより単位認定(Campusmate-Jによる履修登録は不要)

※CALL1は1年次後期、CALL2は2年次前期に単位認定されます。

4-2. 言語文化科目(初修外国語)

言語そのものだけでなく、その言語の発想法や背景における文化を理解することで、思考の幅広さを涵養する



1年次に計4単位【必修】

・1年次前期 「〇〇語ⅠA」、「〇〇語ⅠB」

・1年次後期 「〇〇語ⅡA」、「〇〇語ⅡB」

(理学部物理学科・工学部・歯学部・薬学部は1年次前期の2単位のみ必修)

前期・後期いずれも月曜・木曜、火曜・金曜の計週2コマで開講

★受講する曜日・時限はクラスにより指定される(時間割A表を確認)

★2年次以降の初修外国語の履修の仕方は学部・学科により異なる
『履修要項』p.102, 109を必ず確認すること

5. 文系ディシプリン科目

幅広い教養教育と専門基礎教育を通して
多様な文系的思考に触れる



「人間・社会・文化」科目

具体的なテーマや問題に即して文系のディシプリンを「体験」することを通じて、多様なものの見方や分析の手法があることを学ぶ



専門基礎としての／より教養を深めるための各「入門」科目

■文系の学生にとって

専門基礎科目として、専攻教育につながる初歩的な専門知を獲得
隣接する他分野の学問のディシプリンに触れる
→豊かな教養に裏付けられた深い専門性をはぐくむための基盤を修得

■全ての学生にとって

ものの見方や分析の手法が多様にあることを知る
→自らの学びを相対化し、思考の礎となる

★選択できる曜日・時限がクラスにより異なる(時間割A表を確認)

6. 理系ディシプリン科目

多様な基礎的科目を通して、自然科学的な視点を獲得する



教養・専門基礎・リメディアルの3つを意識した科目群

- ・**教養系**(教養としての自然科学)

自らの生活や取り巻く環境との関わりを考え、
自然科学的な視点を獲得

- ・**専門基礎系**(専門基礎としての自然科学)

理系分野の専攻教育に連続的につながるものとして、
着実な積み上げにより系統的に学習

- ・**リメディアル系**(リメディアルからはじめる自然科学)

基礎的知識が不十分な部分や十分に整理されていない部分を補足し、
理系専攻教育へスムーズに発展

★選択できる曜日・時限がクラスにより異なる(**時間割A表を確認**)

★専門基礎系は、ほとんどの科目でクラス指定があるので注意

★クラス割は学生ポータルシステム(Campusmate-J)により配信予定

7. サイバーセキュリティ科目

ICT国際社会で生き抜くためのサイバーセキュリティ力を向上



1年次春学期開講 1単位【必修】

・セキュリティに関する基礎的な技術から法律、倫理まで幅広く学ぶ

★受講する曜日・時限はクラスにより指定(時間割A表を確認)

<注意>

- ・初回からPCを持参すること
- ・Moodleにある「学生用マニュアル」(<https://la.kyushu-u.ac.jp/usage-support/>)と、「九州大学オンライン研修システム」上にある「よくわかるOffice」により、MoodleとMS-Officeの使い方を習得しておくこと

8. 健康・スポーツ科目

自律的な健康行動に結びつく運動スキル・ライフスキルの向上
→心身ともに健やかな人材を育成する



「健康・スポーツ科学演習」(1年次前期・1単位)【必修】

※教育職員免許状の取得を希望する場合

→「身体運動科学実習 I A／I B～IV」から計1単位を必ず修得

- ・生活の基本となる健康・体力、
それらを高めるための方法に関する正しい知識の獲得
- ・ライフスキルを修得・向上させる

★受講する曜日・時限はクラスにより指定(時間割A表を確認)

■「健康・スポーツ科学演習(アダプテッドコース)」

病気などの理由により通常の授業を受講することが困難な学生のための特別クラス
初回授業のオリエンテーション時に、担当教員と相談

9. 総合科目

総合大学の強みを活かした幅広いテーマの授業科目
多種多様な授業形態
(講義形式・演習形式・集中講義形式・フィールド形式)



フロンティア科目

※学部・学科によって「フロンティア科目」のみを必修とする場合がある

- ・主体的に課題を発見し探求して新たな知を深化・創造する場
- ・異分野の人との交流による知の創造・進展の場



オープン科目

- ・九州大学の教員が自主的に開講する授業
- ・主にQRECや各研究機関、他大学と連携して行われる授業

10. 高年次基幹教育科目

専門性を契機として生まれるアクティブな学びの
広がりと深まりを促す



2年次以降、各キャンパスで開講 【2単位以上必修】

※学部・学科によって**必修単位数・必修科目が異なる**

- ・「知の連携」「知の深化」の2種類に大別される
- ・専攻教育の学習による知識の深化を背景として生まれてくる

■ より多様で幅広い教養への興味

■ 専門性の一步先にある有用な知識やスキル

に対するニーズを満たす科目群